

城陽市生涯学習推進計画

取組状況報告書(総括)
(平成20年度～平成28年度)

平成30年(2018年)2月

城陽市教育委員会
文化・スポーツ推進課

生涯学習推進計画 取組状況報告書（総括）について

城陽市は、平成 20 年（2008 年）12 月に「城陽市生涯学習推進計画」を策定し、「いつでも、どこでも、だれでも、たのしく、ともに学び、ともに育ち、ともにつくる地域社会」を目標に、将来像「緑と太陽、やすらぎのまち・城陽」の実現に向けて、生涯学習施策の推進を図ってきました。

この9年間で、余暇時間が増え、地域活動やボランティア活動などへの関心が高まる一方、価値観の多様化、人口減少、少子高齢化、国際化、情報ネットワークの進展など、社会環境が変化し、本市の生涯学習を取り巻く環境にも大きな影響を与えてきました。「生涯学習」とは単に「参加するもの」からともに学び、喜びを分かち合う「参画するもの」、「協働するもの」へ変化してきています。

このことから、取組状況については、価値観の多様化、人口減少により参加人数等が減少しているものもありますが、各担当部署と連携しながら、質の向上を目指し、市民ニーズにあった施策を実施してきたところです。

この取組状況報告書は、推進計画に基づき平成 20 年（2008 年）から平成 28 年（2016 年）までの9年間に実施した各種施策について、生涯学習推進会議において点検・評価・検討を行い、取組状況をまとめた報告書となっています。

計画の内容	施策 番号	担当課	ページ
1 学習機会の充実			
(1) 子育て世代の学習			
① 家庭の教育力の向上			
家庭教育に関する学習機会の充実	1	文化・スポーツ推進課	1
② 地域活動の充実			
子ども会の育成・支援	2	文化・スポーツ推進課	1
子育て世代の支援体制の構築	3	子育て支援課	1
③ 子育て支援の充実			
ファミリー・サポート・センターの充実	4	子育て支援課	2
地域子育て支援センターの充実	5	子育て支援課	2
④ 幼児教育センター機能の充実			
幼児教育センターの充実	6	学校教育課	2
⑤ 学習機会の充実			
文化パーク城陽のプレイルーム事業の充実	7	文化・スポーツ推進課	3
コミュニティセンターの子ども向け事業の充実	8	市民活動支援課	3
図書館における読み聞かせ事業の充実	9	図書館	3
あそびのはくぶつ館の開催	10	文化・スポーツ推進課	3
歴史民俗資料館における子ども向け事業の充実	11	歴史民俗資料館	3
(2) 子どもの学習			
① 学習機会の充実			
国際理解教育の推進	12	学校教育課	4
国際理解教育の推進		秘書広報課	4
環境教育の推進	13	学校教育課	4
環境教育の推進		環境課	4
情報教育の推進	14	学校教育課	4
体験学習の充実	15	学校教育課	4
体験学習の充実		歴史民俗資料館	5
地域の人々の持つ技能・知識・経験を活かした学習の推進	16	学校教育課	5

② 体験活動の推進				
	土曜子ども活動支援事業の推進	17	文化・スポーツ推進課	5
	プラネタリウム投映事業の推進	18	文化・スポーツ推進課	5
	親子ふれあい農園事業の推進	19	文化・スポーツ推進課	5
	子どもの体験活動の推進	20	文化・スポーツ推進課	6
③ 学校・家庭・地域との連携				
	放課後子ども教室推進事業の充実	21	文化・スポーツ推進課	6
	学校・地域連携推進事業の充実	22	学校教育課	6
	学校・地域連携推進事業の充実		文化・スポーツ推進課	6
(3) 青少年の学習				
① 学習活動の充実				
	ふれあい登山の実施	23	文化・スポーツ推進課	7
	スポーツ活動や文化活動への支援	24	文化・スポーツ推進課	7
	青少年の意見発表会の開催	25	文化・スポーツ推進課	7
② 団体活動の振興				
	青少年育成団体と協働した地域活動の促進	26	文化・スポーツ推進課	8
	子ども会後援会協議会の育成【再掲】	27	文化・スポーツ推進課	8
	スポーツ少年団の育成	28	文化・スポーツ推進課	8
③ 青少年健全育成活動の推進				
	青少年総合計画の策定	29	文化・スポーツ推進課	8
	青少年健全育成市民会議の活動支援	30	文化・スポーツ推進課	8
	青少年の社会参加への支援	31	文化・スポーツ推進課	9
(4) 勤労世代の学習				
① 学習活動の支援				
	働く女性の家における学習情報提供・学習内容の充実	32	商工観光課	9
② 関係機関との連携				
	関係機関と連携した職業訓練などの情報提供の充実	33	商工観光課	9
(5) 高齢者の学習				
① 学習機会の充実				
	文化、スポーツ・レクリエーション活動などの機会の充実	34	高齢介護課	9

	文化、スポーツ・レクリエーション活動などの機会の充実		市民活動支援課	10
	文化、スポーツ・レクリエーション活動などの機会の充実		歴史民俗資料館	10
	文化、スポーツ・レクリエーション活動などの機会の充実		文化・スポーツ推進課	10
② 社会参加の促進				
	高齢者クラブへの支援	35	高齢介護課	11
	シルバー人材センターへの支援	36	福祉課	11
	高齢者マイスター認定制度の導入検討	37	高齢介護課	11
2 学習環境の整備				
(1) 生涯学習施設の整備・充実				
① 生涯学習施設の整備・充実				
	生涯学習施設の整備・充実	38	市民活動支援課	12
	生涯学習施設の整備・充実		文化・スポーツ推進課	
	生涯学習センターの設置検討	39	文化・スポーツ推進課	12
② スポーツ施設の整備・充実				
	総合運動公園などスポーツ施設の充実	40	文化・スポーツ推進課	12
	東城陽ふれあいスポーツ広場の整備	41	文化・スポーツ推進課	13
③ 学校施設の活用				
	学校開放事業の推進	42	学校教育課	13
(2) 関係機関との連携推進				
① 生涯学習ネットワークの展開				
	生涯学習施設間の連携強化と新たな学習ニーズへの対応	43	市民活動支援課	13
	生涯学習施設間の連携強化と新たな学習ニーズへの対応		文化・スポーツ推進課	14
② 民間団体等との連携				
	民間団体と連携した生涯学習事業の充実	44	文化・スポーツ推進課	14
③ 京都府等との連携				
	京都府生涯学習推進ネットワークへの参画	45	文化・スポーツ推進課	14
④ 学校教育と社会教育の連携・融合				
	学校と地域が一体となった学習活動の充実	46	学校教育課	15

	学校と地域が一体となった学習活動の充実【再掲】		文化・スポーツ推進課	15
(3) 情報提供の推進				
	① 情報紙の充実			
	生涯学習情報紙の充実	47	文化・スポーツ推進課	15
	② ホームページの充実			
	ホームページの充実	48	文化・スポーツ推進課	15
	③ 情報提供システムの充実			
	インターネットによる事業参加申込と携帯情報端末等の活用検討	49	文化・スポーツ推進課	16
	NPO・ボランティア団体などの活動情報の提供	50	市民活動支援課	16
④ 施設予約管理システムの充実				
施設予約管理システムの利便性向上	51	文化・スポーツ推進課	17	
3 現代社会への対応				
(1) 人権や平和、男女共同参画の推進				
	① 基本的人権の尊重			
	人権に関する啓発活動などの推進	52	市民活動支援課	18
	人権教育の推進	53	文化・スポーツ推進課	18
	② 平和学習の推進			
	平和に関する啓発活動や学習活動の推進	54	秘書広報課	18
	③ 男女共同参画の推進			
	男女共同参画に関する啓発活動の充実	55	市民活動支援課	19
男女共同参画に関する情報提供の充実	56	市民活動支援課	19	
男女共同参画に関する学習機会の充実	57	市民活動支援課	19	
(2) 福祉学習の推進				
	① 地域福祉の意識向上			
	地域における福祉に関する学習の推進	58	福祉課	20
	② 障がいのある人の学習機会の充実			
	障がいのある人の学習機会と支援策の充実	59	文化・スポーツ推進課	20
	障がいのある人の文化・スポーツ活動の参加機会の充実	60	文化・スポーツ推進課	20
障がいのある人の文化・スポーツ活動の参加機会の充実	福祉課		21	

(3) 現代的課題に対応する学習の推進				
	① 国際化社会に対応する学習の推進			
	国際理解の環境づくりと学習機会の提供	61	秘書広報課	21
	外国人への日本語習得支援	62	秘書広報課	21
	② 情報化社会に対応する学習の推進			
	働く女性の家におけるパソコン研修の実施	63	商工観光課	21
	eラーニングによる学習機会の提供	64	文化・スポーツ推進課	22
	③ 自然・環境学習の推進			
	環境問題に関する学習活動や啓発活動の充実	65	環境課	22
	緑化推進に関する学習活動や啓発活動の充実	66	地域整備課	22
	④ 健康学習の推進			
	健康管理に必要な情報提供の充実	67	健康推進課	22
	⑤ 食に関する学習の推進			
	栄養教室などの学習機会の充実	68	健康推進課	23
	⑥ 消費生活に関する学習の推進			
消費生活講座の充実	69	商工観光課	23	
情報提供の充実	70	商工観光課	23	
4 文化・スポーツ活動の振興				
(1) 文化芸術活動の振興				
	① 文化芸術活動の推進			
	文化芸術活動の振興	71	文化・スポーツ推進課	25
	② 文化芸術事業の充実			
	文化パーク城陽における文化芸術事業の充実	72	文化・スポーツ推進課	25
	コミュニティセンターにおける地域文化芸術事業の充実	73	市民活動支援課	25
	③ 文化芸術活動への支援			
文化団体の育成と活動支援	74	文化・スポーツ推進課	25	
(2) 文化財や歴史の保存継承の推進				
	① 文化財の保護と活用			
	文化財の適切な保護・保存	75	文化・スポーツ推進課	26

	出土遺物の整理・資料化と市民への周知	76	文化・スポーツ推進課	26
② 文化財保護意識の普及・啓発				
	文化財保護意識の普及・啓発	77	文化・スポーツ推進課	26
	伝統文化や行事の保存・継承	78	文化・スポーツ推進課	26
	歴史、伝統文化の保存・継承	79	歴史民俗資料館	27
③ 歴史民俗資料館の充実				
	展示の充実	80	歴史民俗資料館	27
	歴史民俗資料(古文書・民具等)の調査研究の推進	81	歴史民俗資料館	27
(3) スポーツ・レクリエーション活動の振興				
① 活動機会の充実				
	市民ニーズに沿ったプログラムの提供と体力づくりの場の充実	82	文化・スポーツ推進課	27
② 関係団体との連携と支援				
	団体との連携と活動支援	83	文化・スポーツ推進課	28
③ 指導者の育成				
	指導者の育成・確保	84	文化・スポーツ推進課	29
④ 総合型地域スポーツクラブの支援				
	総合型地域スポーツクラブの設立支援	85	文化・スポーツ推進課	29
(4) 読書活動の推進				
① 図書館事業の充実				
	図書の充実	86	図書館	30
	図書館事業の充実	87	図書館	30
② コミセン図書事業の充実				
	図書の充実	88	市民活動支援課	30
	読み聞かせの充実	89	市民活動支援課	31
③ 図書システムの充実				
	システムの充実	90	図書館	31
④ 子どもの読書活動の推進				
	学校および学校図書館における読書活動の推進	91	学校教育課	31
	図書館における読書活動の推進	92	図書館	31
	学校との連携推進	93	図書館	32

	⑤ 高齢者・障害者の読書環境の充実			
	大活字本や録音図書の充実	94	図書館	32
	高齢者施設への本の貸出検討	95	図書館	32
5 学習成果を活かした地域づくりの推進				
(1) コミュニティ活動の推進				
	① コミュニティ事業の推進			
	コミュニティ事業の支援	96	市民活動支援課	33
	② コミュニティ組織の育成・支援			
	自治会活動やまちづくり活動の支援	97	市民活動支援課	33
	花いっぱい運動の支援【再掲】	98	地域整備課	33
	クリーン活動の実施	99	環境課	33
	③ コミュニティリーダーの育成・確保			
	地域活動におけるリーダーの育成・確保	100	市民活動支援課	34
	地域活動におけるリーダーの育成・確保		文化・スポーツ推進課	34
	(2) ボランティア活動の推進			
	① ボランティア活動の奨励			
	ボランティア活動に関する情報提供の推進	101	市民活動支援課	34
	ボランティア活動の場の提供	102	図書館	34
	ボランティア活動の場の提供		歴史民俗資料館	35
	ボランティア活動の場の提供		高齢介護課	35
	ボランティア活動の場の提供【再掲】		環境課	35
	ボランティア活動の場の提供		商工観光課	35
	② 学習機会の充実			
	ボランティアの養成講座や体験講座の実施	103	市民活動支援課	35
	③ ボランティア活動への支援			
	市民活動支援センターの活動推進	104	市民活動支援課	36
(3) 学習成果の活用				
	① 活動の場の充実			
	市民文化祭などへの支援	105	文化・スポーツ推進課	36
	② 人材活用の仕組みづくり			
人材活用システムの整備検討	106	文化・スポーツ推進課	36	

1 学習機会の充実

(1) 子育て世代の学習

① 家庭の教育力の向上

家庭の教育力を向上するため、家庭教育セミナーなど家庭教育に関する学習機会を充実するとともに、家庭教育手帳などの家庭教育関係資料の有効活用を図ります。

●家庭教育に関する学習機会の充実（文化・スポーツ推進課） 1

取組状況	関係団体から推薦された企画推進委員と教育委員会による企画推進委員会を設け、家庭教育セミナー（オープニング講座、きずな講座、のびのび講座）を実施した。平成27年度から、城陽市民大学教育コースとしてリニューアルした。
効果	H20 3回 235人 H28 3回 232人 参加人数は減少しているが、市民大学教育コースとすることにより、子育て世代以外の参加も増え、学校教育以外の分野で地域や家庭教育についての学習機会を提供することができた。

② 地域活動の充実

子ども会後援会協議会などへの地域活動補助事業を通じて、子ども会など地域における組織を育成するとともに、地域活動の支援を充実します。
また、子育て経験者との交流を促進し、地域全体で子育て世代を支援する体制の構築を推進します。

●子ども会の育成・支援（文化・スポーツ推進課） 2

取組状況	子ども会では、異年齢でのスポーツや文化的活動を通して、子どもたちの健やかな成長に貢献してきた。しかし、すべての校区に子ども会があるわけではなく、現在は10小学校区のうち7校区が加盟している（平成29年度からは6校区となる）。今後、保護者の多忙化や価値観の多様化、余暇の過ごし方の多様化など、社会環境の変化に伴い、組織離れや役員のなり手不足などが課題となっている。
効果	異年齢でのスポーツや文化的活動を通して、子どもたちの健やかな成長に貢献した。

●子育て世代の支援体制の構築（子育て支援課） 3

取組状況	市内の公私立保育園全園において、あそびのひろばを開催し、地域の子育て家庭に対して園庭を開放し、あそびの場を提供した。
効果	子育て経験者との交流を促進し、地域全体で子育て世代を支援する体制を構築することができた。

③ 子育て支援の充実

城陽市次世代育成支援推進事業行動計画（じょうよう冒険ランドプラン）に基づき、豊かなコミュニケーションが図れる子育て環境を整備するため、ファミリー・サポート・センター会員の増員と会員相互の支援活動の拡大を図るとともに、育児不安解消のため、地域子育て支援センターなどにおける相談業務や情報提供の充実に努めます。

※城陽市次世代育成支援推進事業行動計画（じょうよう冒険ランドプラン）については、平成26年度に終了し、じょうよう冒険ランドプランの考え方を継承しながら、平成27年度から子ども・子育て支援事業計画を実施している。

● ファミリー・サポート・センターの充実（子育て支援課） 4

取組状況	ファミリー・サポート・センターが調整をし、依頼会員（子育ての援助を受けたい人）と援助会員（子育ての援助をしたい人）が育児に関する相互援助活動を行った。
効果	延長保育や一時保育などで対応できない部分をファミリー・サポート・センターでカバーするというように、ニーズに応じて利用されている。

● 地域子育て支援センターの充実（子育て支援課） 5

取組状況	地域の子育て家庭への支援として、子育ての相談対応やあそびのひろば・公園への訪問、子育て支援講座の開催、情報紙（子どもワンダーニュース）の発行などを行った。また、子育て支援事業に限らず、「体幹回復ストレッチ」などの多世代交流事業を実施した。
効果	旧深谷幼稚園跡地において、子育て・多世代交流施設として地域子育て支援センター「ひなたぼっこ」を平成27年度に開設した。

④ 幼児教育センター機能の充実

公私立幼稚園の連携を深め、家庭や地域との関わりを強化して、地域の幼児教育センターとして相談機能の充実に努めます。

● 幼児教育センターの充実（学校教育課） 6

取組状況	園の1室を開放し、未就園児とその保護者を対象に、安心して子育てができる身近な拠点として、子育て相談や情報提供及び交流を行った。
効果	子育て相談や情報提供及び交流を行うことができた。

⑤ 学習機会の充実

文化パーク城陽のプレイルーム事業、コミュニティセンターにおける子ども向け事業、図書館における読み聞かせ事業、あそびのはくぶつ館の開催など、各種の体験学習機会を充実します。

● 文化パーク城陽のプレイルーム事業の充実(文化・スポーツ推進課) 7

取組状況	プレイルームにおいて、紙芝居や工作教室等を実施することで、学習機会の充実を図った。
効果	遊びを通じた親子のふれあいの場、育児の悩みなどを語り合える交流の場を提供することができた。

● コミュニティセンターの子ども向け事業の充実(市民活動支援課) 8

取組状況	あそぼう教室、ダンス教室、手づくり教室等各種事業を実施した。
効果	H20 459 事業 9,695 人 H28 369 事業 5,603 人 少子高齢化に伴い、子ども向け事業回数や参加人数は減少しているものの、地域の住民や、親子のふれあいの機会を提供する場を作り出すことができた。

● 図書館における読み聞かせ事業の充実(図書館) 9

取組状況	子どもの読書推進につながる各種事業を継続して実施し、併せて読書ボランティアによる図書館事業への参画を促進した。
効果	子どもの読書活動推進に向けた取組を実施することができた。

● あそびのはくぶつ館の開催(文化・スポーツ推進課) 10

取組状況	青少健における最大規模ともいえる本事業は、地域各種団体の大人と子どもが一堂に会し、様々な遊びを通して交流を深める貴重な機会となっている。
効果	伝承遊びや創作遊びを地域の人たちと関わりながら実施することは、子どもたちの社会性や自主性をはぐくむ上で貴重な体験の場となった。

● 歴史民俗資料館における子ども向け事業の充実(歴史民俗資料館) 11

取組状況	毎年「勾玉をつくろう！」のような継続的に実施しているものから、工夫を凝らして新しいものも取り入れ、大人も子どもも楽しんで歴史を学べるようなふれあい教室などの普及事業を実施してきた。
効果	近年参加人数が減少傾向ではあるが、9年間で平均年間36回、519人の参加があり、子ども向け事業の充実を推進することができた。

(2) 子どもの学習

① 学習機会の充実

国際化に対応した国際理解教育、自然と人間の調和をめざす環境教育、高度情報化に対応した情報教育を推進するとともに、健康で豊かな心をはぐくむため、自然を活用した体験や、伝統文化を取り入れた生活体験などの学習機会を充実します。

また、地域の自然や歴史、産業、福祉などの様々な分野で、地域の人々の持つ技能・知識・経験を活かした学習を推進します。

● 国際理解教育の推進（学校教育課） 1 2

取組状況	英語指導助手を各小中学校に巡回配置し、外国語教育・国際理解教育に取り組んだ。
効果	外国語教育、国際理解教育の推進を図った。 H20 英語指導助手3人 H28 英語指導助手5人

● 国際理解教育の推進（秘書広報課） 1 2

取組状況	城陽市国際交流協会において、子ども英会話事業を開催した。
効果	語学講座を通じて、異文化への理解や国際交流の推進を図ることができた。

● 環境教育の推進（学校教育課） 1 3

取組状況	学校で、総合的な学習の時間を中心に環境に関する学習について取り組んだ。
効果	環境に関する取組をあらゆる機会に取り入れ、充実することができた。

● 環境教育の推進（環境課） 1 3

取組状況	城陽市地球温暖化実行計画（区域施策編）の取組みとして、市内保育園において環境出前講座を実施した。
効果	自然環境保全、地球温暖化問題について市民への学習機会を提供し、啓発を実施できた。

● 情報教育の推進（学校教育課） 1 4

取組状況	小中学校のコンピュータ教室の機器について更新を行い、児童生徒一人1台の環境のもと、調べ学習やまとめ学習、発表などさまざまな状況において活用を図った。
効果	情報操作について技能を高めるとともに、情報の取り扱いなど情報活用の基本的な能力について育成に努めた。

● 体験学習の充実（学校教育課） 1 5

取組状況	学習指導要領に基づき、「生きる力」の育成を目指し、各学校で農作
------	---------------------------------

	業体験等について、特色ある教育課程を編成し、総合的な学習の時間を中心に取り組んだ。
効果	多様な学習機会を充実させることができた。

●体験学習の充実（歴史民俗資料館） 15

取組状況	毎年春と冬に社会科の授業の一環として利用できる展示を行うことで、学校と連携して子どもたちの歴史や伝統文化への興味・関心を高められるよう努めてきた。
効果	特に昔の暮らし体験授業では、糸つむぎや縄ないといった現在では目にすることが減ってしまった貴重な体験をする機会を提供し、市内外の小学校から来館していただいております。伝統文化を取り入れた生活体験などの学習機会を充実させることができた。

●地域の人々の持つ技能・知識・経験を活かした学習の推進（学校教育課） 16

取組状況	学習指導要領に基づき、「生きる力」の育成を目指し、各学校で農作業体験等や人形劇・音楽鑑賞などについて、特色ある教育課程を編成し、総合的な学習の時間を中心に社会人講師を活用して取り組んだ。
効果	多様な学習機会を充実させることができた。

②体験活動の推進

子どもの体験活動を豊かにするため、コンピュータ教室、体育館などを活用した教室などの土曜子ども活動支援事業や文化パーク城陽におけるプラネタリウム投映事業、親子ふれあい農園事業などを推進します。

●土曜子ども活動支援事業の推進（文化・スポーツ推進課） 17

取組状況	絵本の読み聞かせ・紙芝居・パネルシアター・手遊び・実験・工作・クイズなど富野小学校で「ふれあい図書室」を実施した。
効果	異年齢集団の子どもたちがいろいろな経験をする中で仲間意識を高め、楽しく学べる機会・場になっている。コーディネーターを中心に着実に成果をあげている。

●プラネタリウム投映事業の推進（文化・スポーツ推進課） 18

取組状況	プラネタリウム投影事業は、全天周デジタル投影機により、多様な番組の提供が可能となっている。
効果	プラネタリウムを通して天体に興味を持ち、自然科学全体に関心を持つことによって、自然のすばらしさを感じる心を養う一助になった。

●親子ふれあい農園事業の推進（文化・スポーツ推進課） 19

取組状況	市民農園が廃園となったことから、親子ふれあい農園も閉園した(平成25年度廃園)。
------	--

● 子どもの体験活動の推進（文化・スポーツ推進課）

20

取組状況	平成20年度以降、幼児から中学生までを対象に9教室（71回）を開催し、延べ1,903人の参加があった。
効果	幼児（3歳から6歳）を対象としたはじめてのたいそう教室は、募集人数の倍以上の応募がある盛況ぶりであり、幼児期における体操経験希望者が多いことが伺える。また、種目を特化しないキッズスポーツでは、アーチェリー、フラッグフットボールやゴールボールなど普段体験できないスポーツもあり、参加した児童には好評である。姉妹都市との2泊3日の文化・スポーツ交流は、参加児童が家族と離れて野外活動や姉妹都市の文化に触れ、貴重な体験を通じて年々両市町の友好を深めていくことができている。

③ 学校・家庭・地域との連携

子どもの安全・安心な活動拠点の確保や地域交流活動等を行うため、放課後子ども教室推進事業や、学校と家庭、地域が連携した学校・地域連携推進事業の一層の充実を図り、子どもと地域とのふれあいや交流の場づくりに努めます。

● 放課後子ども教室推進事業の充実（文化・スポーツ推進課）

21

取組状況	古川小学校における放課後子ども教室事業については定着してきており、学校・地域・保護者の理解と協力を得て、継続して実施した。 富野小学校区において、新たに「放課後子ども教室」開設への要望が地域から出てきたが、他小学校区において事業拡大をしていくにあたっては、余裕教室の有無や地域の理解、スタッフ（地域の協力者や学生ボランティアなど）の確保など、解決しなければならない課題が多々ある。また、古川小学校区においても、教育活動サポーターなどのボランティア補助員の継続的な確保が課題となっている。
効果	放課後子ども教室の参加者が学生ボランティアとして帰ってきてくれたことは一定の成果であるといえる。

● 学校・地域連携推進事業の充実（学校教育課）

22

取組状況	学校と家庭、地域が連携した事業の充実を図った。
効果	子どもと地域とのふれあいや交流の場づくりに努めた。

● 学校・地域連携推進事業の充実（文化・スポーツ推進課）

22

取組状況	学校支援地域本部事業について、平成22年度～西城陽中学校、平成24年度～城陽中学校に設置し、地域住民のコーディネーター、地域ボランティアによる図書支援・学習支援・環境支援・部活動補助などの学校支援活動を行った。
------	---

効果	環境支援においては、生徒が考えたデザインの花壇を生徒が作成するなど、地域住民と生徒との関わりも増えてきている。
----	---

(3) 青少年の学習

① 学習活動の充実

青少年の社会性や自主性をはぐくむため、スポーツ活動や文化活動等への支援を行うとともに、青少年の健全育成に対する理解を深めるため、講演会の開催など学習活動の充実に努めます。

● ふれあい登山の実施（文化・スポーツ推進課） 23

取組状況	市内在住の小学4年生から高校生までの児童生徒及びその保護者を対象に、滋賀・京都などの近郊の登山を実施した。
効果	年度によって人数に多少の差はあるものの、小学校4年生から6年生までの児童を中心に、異年齢集団での活動を実施してきた。様々な学校の友達と触れ合い、登頂するという共通の目標に向かって、数年にわたって友達と誘い合って参加するなど、豊かな人間関係を育成する一助となった。

● スポーツ活動や文化活動への支援（文化・スポーツ推進課） 24

取組状況	市内在住、在勤のスポーツ競技を実施している市民が、世界大会・全国大会に出場が決定した場合に、その大会への出場に対し激励金を交付し、大会での活躍の一助となるよう支援した。 文化の振興のため、5中学校合唱コンクールに対して助成した。
効果	H20 激励金交付件数44件 H28 激励金交付件数37件 全国大会において13の個人・団体の優勝をもたらし、市内の音楽文化の振興に寄与した。制度の周知を図るため広報じょうように掲載を続けていく。

● 青少年の意見発表会の開催（文化・スポーツ推進課） 25

取組状況	市内在住の小学5・6年生、中学生及び30歳未満の青年を対象に、意見文を応募し、優秀と認められた作品のうち数点を口頭発表した。
効果	青少年意見発表会について、城陽市の児童数が減少してきている中、中学校を中心に応募数が高まってきていることは、これまでの取り組みの成果の一端であると考え。発表者やその保護者だけでなく、その友人など数多くの青少年がお互いの率直な思い、熱い考えを聞きあう機会は、青少年の健全育成と明るい地域社会の醸成に大きな影響を与えている取組であると考え。

② 団体活動の振興

地域の青少年育成団体と協働して、地域活動、ボランティア活動などを促進し、豊かな心やボランティア精神の醸成を図るとともに、青少年育成団体や子ども会後援会、スポーツ少年団など地域における組織の育成を図ります。

●青少年育成団体と協働した地域活動の促進(文化・スポーツ推進課) 26

取組状況	子ども会後援会協議会について、小学校区ごとに支部を組織し、現在は10小学校区のうち7校区が加盟している。
効果	保護者の多忙化や価値観の多様化、余暇の過ごし方の多様化など、社会環境の変化に伴い、組織離れや役員のなり手不足などが課題となっている。

●子ども会後援会協議会の育成【再掲】施策2(文化・スポーツ推進課) 27

●スポーツ少年団の育成(文化・スポーツ推進課) 28

取組状況	スポーツ少年団に補助金を支出した。また本部事務を文化・スポーツ推進課で引き受け、活動の支援を行った。スポーツ少年団指導者協議会により異種も区間の交流事業及び研修が実施された。少子化や社会環境の変化などにより、団員・指導者の確保が難しくなっている。自立化に向けた取組を進める必要がある。
効果	平成20年度は、31団、団員数722名、指導者数140名であったものが、平成28年度は27団、643名、指導者数146名と登録団数、団員数等ともに減少傾向にはあるが、本市の青少年のスポーツ活動を支え、スポーツを通じた青少年の健全育成に寄与した。

③ 青少年健全育成活動の推進

青少年の健全育成に係る施策を中長期的な視点に立って、計画的かつ総合的に推進していくため、青少年総合計画を策定します。

また、青少年健全育成市民会議の各種の活動を支援するとともに、関係機関との連携を強化して、青少年の社会参加への支援を進めます。

●青少年総合計画の策定(文化・スポーツ推進課) 29

取組状況	青少年総合計画の策定については、総合計画の中に青少年対策事業を位置づけることとし、策定しないこととした。
------	--

●青少年健全育成市民会議の活動支援(文化・スポーツ推進課) 30

取組状況	本部・専門部・校区のそれぞれにおいて、環境浄化、非行防止と健全育成の特色ある事業を展開された。
効果	青少年の健全育成に対する市民意識の高揚が図ることが出来た。

● 青少年の社会参加への支援（文化・スポーツ推進課）

31

取組状況	各校区青少健において、年に1～2回程度、クリーン運動を展開されている。
効果	中学生についてはボランティア活動の一環として、中学校の協力を得て、部活動単位での参加が増加してきている。また、校区青少健においてクリーン運動の啓発チラシを作成するなどの工夫が行われている。

(4) 勤労世代の学習

① 学習活動の支援

生涯学習に対する関心を高めるとともに、学習活動を促すため、学習情報の提供などを充実します。
また、学習ニーズを把握して、働く女性の家における学習内容を充実します。

● 働く女性の家における学習情報提供・学習内容の充実（商工観光課）

32

取組状況	職業に関する講座を中心に学習ニーズに合わせた様々な講座を実施し、働く女性の家における学習内容の充実に努めた。
効果	多様な講座を実施し、学習内容を充実することができた。

② 関係機関との連携

城南地域職業訓練センターやカルチャーセンター、スポーツクラブなどと情報提供や講師の派遣などにおいて連携・協力し、職業能力向上の機会を充実します。

● 関係機関と連携した職業訓練などの情報提供の充実（商工観光課）

33

取組状況	継続的に城南地域職業訓練センター及び府立勤労者福祉会館からの各種講座案内を広報じょうように掲載し情報提供を行った。
効果	広く情報提供を充実することができた。

(5) 高齢者の学習

① 学習機会の充実

高齢者が生きがいのある充実した生活が送れるよう、仲間づくりや世代間交流、文化、スポーツ・レクリエーション活動などの機会を充実します。

● 文化、スポーツ・レクリエーション活動などの機会の充実（高齢介護課）

34

取組状況	老人福祉センター4施設で医療・健康・生活に関わる講習会や、防災訓練、介護予防や各種教養の教室を行い高齢者の知識と教養の向上を図っている。施設内浴場の維持管理費に充てるため、平成24年1
------	--

	0月1日より入浴料（1日100円）を徴収している。
効果	文化、スポーツ共に活発なサークル活動や陽和苑などで行っている幼老ふれあい事業は、高齢者の健康と生きがいづくりの増進につながっている。

●文化、スポーツ・レクリエーション活動などの機会の充実（市民活動支援課） 34

取組状況	コミュニティセンターにおいて、高齢者がいきいきとした生活が送れるよう、健康教室や唱歌教室、体操教室など多種多様な事業を実施することで、仲間づくりの一助となった。
効果	多様な事業を実施することで、仲間づくりの一助となった。

●文化、スポーツ・レクリエーション活動などの機会の充実（歴史民俗資料館） 34

取組状況	毎年古文書調査員による古文書講座を実施した。
効果	平均 100 人程の参加があり、高齢者の学習機会の充実を図ることができた。

●文化、スポーツ・レクリエーション活動などの機会の充実

（文化・スポーツ推進課） 34

取組状況	<p>健康寿命を延ばすための取り組みの一つとして、健康アカデミー（体操教室）を実施しており、参加者には運動を始めるよい機会となっているようである。今後も引き続き教室の開催を行い、参加者が増加するような取り組みの検討が必要である。また、各種大会は、高齢化により活動力が低下しているような状況も見られることから、今後活動機会の充実を図るための普及事業展開や新たな種目の検討が必要となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康アカデミー（エクササイズ教室）：H24～H28、11回、116人 ・ペタンク大会：H20～H28、9回 ・ソフトバレーボールフェスティバル（ゴールドの部（50歳以上の部））：H20～H28、9回、1,944人 ・ラージボール卓球ダブルス大会：H20～H28、9回、1,079人 ・グラウンドゴルフ大会：H20～H23、4回、1,340人
効果	生きがいのある充実した生活が送れるよう仲間づくりや世代間交流の機会を充実させることができた。

② 社会参加の促進

高齢者の社会参加を促進するため、高齢者クラブやシルバー人材センターへの支援を行うとともに、知識、技能、経験などを有効活用する高齢者マイスター認定制度の導入を検討します。

● 高齢者クラブへの支援（高齢介護課）

35

取組状況	高齢者クラブの活動は、高齢者の生きがいづくりと健康づくり等に役立ち、高齢者が要介護状態とならないための介護予防の役割を担っていることから、活動費の一部を助成し、活動を支援している。
効果	高齢者の生きがいづくりと健康づくり等に役立ち、高齢者が要介護状態とならないための介護予防の役割を担っている。

● シルバー人材センターへの支援（福祉課）

36

取組状況	平成 26 年度から平成 27 年度にかけて、地域人づくり事業の実施により、新規会員数 123 人、新規受注件数 84 件を確保した。また、毎年度シルバー人材センターに対し事業の一部を補助した。
効果	補助金交付額 平成 20・21 年度 9,161,000 円 平成 21～28 年度 11,359,000 円

● 高齢者マイスター認定制度の導入検討（高齢介護課）

37

取組状況	高齢者マイスター制度については、導入には至りませんでした。第 3 次城陽市総合計画において、調査・研修を進めるとしていた介護支援ボランティア制度（高齢者元気サポーター応援事業）を平成 27 年度から開始した。
効果	高齢者の社会参加や地域貢献の場を広げるとともに、健康増進と介護予防の推進を図った。

2 学習環境の整備

(1) 生涯学習施設の整備・充実

① 生涯学習施設の整備・充実

市民が自らの意志により、いつでも自由に学習ができるよう、多様な形態の学習活動が可能な生涯学習施設の整備・充実を図ります。

また、生涯学習に関する講座の開催や指導者の育成など、総合的な機能を有する生涯学習センターの設置を検討します。

● 生涯学習施設の整備・充実

(市民活動支援課、文化・スポーツ推進課)

38

取組状況	文化パーク城陽や公民館等の生涯学習施設について、適切な修繕や設備の更新を行った。
効果	計画的な予算確保、修繕を行うことで、利用者が安全、快適に利用することができた。

● 生涯学習センターの設置検討（文化・スポーツ推進課）

39

取組状況	運営目的の類似するコミュニティセンター等の生涯学習施設において、生涯学習センターと同様の役割を実施されているため、市としての計画には現在あがっていない。
------	--

② スポーツ施設の整備・充実

市民が快適で安全にスポーツに親しめるよう、総合運動公園をはじめとした施設の充実に努めるとともに、東城陽ふれあいスポーツ広場等、新たなスポーツ施設の整備を推進します。

● 総合運動公園などスポーツ施設の充実（文化・スポーツ推進課）

40

取組状況	<p>総合運動公園、市民プールについては施設の老朽化が進み、修繕や補修に多額の経費が必要となってきた。財政が厳しく大規模改修に対して適切な対応ができていないが、計画的な予算確保、修繕を行うことで、利用者が安全、快適に利用できるよう取り組んでいる。市民運動広場河川敷運動広場については、冠水する可能性があることを考慮しながら、快適な利用のための整備を実施していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設に係る主な改修事業 <p>平成21年度 市民テニスコート改修工事請負費（15,453,950円）、市民運動広場等整備工事請負費（6,780,000円）</p> <p>平成24年度 市民体育館改修請負費（4,483,500円）</p> <p>平成25年度 木津川河川敷運動広場災害復旧工事請負費</p>
------	---

	(19,425,000円) 市民プール塗装工事請負費(6,847,050円) 平成26年度 市民体育館競技場床面改修工事(12,982,680円) 市民体育館空調機器更新工事(2,336,040円) 市民体育館バスケットゴール設置事業(4,266,000円) 平成27年度 柔道畳設置事業(2,268,000円)
効果	快適な利用のための整備を継続したことにより、平成28年度には、293,306人の利用があった。

● 東城陽ふれあいスポーツ広場の整備(文化・スポーツ推進課) 41

取組状況	東城陽ふれあいスポーツ広場は、平成18年度から整備に着手し、平成25年度にグラウンドオープンし、グラウンドゴルフや少年サッカー専用グラウンドとして利用されている。利用団体の協力を得ながら、公平な利用および利用者による自主的な管理運営が行なわれている。 平成18年度～平成25年度 事業費：76,22,550円
効果	利用実績(年間利用者数)が増加している。 H21 10,407人 H22 9,285人 H23 15,692人 H24 16,502人 H25 22,542人 H26 38,590人 H27 32,842人 H28 35,105人

③ 学校施設の活用

小中学校のグラウンドや体育館は、地域における身近なスポーツ施設として多数の利用があることから、引き続き活用を推進します。

● 学校開放事業の推進(学校教育課) 42

取組状況	小中学校のグラウンドや体育館を開放した。
効果	地域における身近なスポーツ施設として多数の利用があった。

(2) 関係機関との連携推進

① 生涯学習ネットワークの展開

コミュニティセンター、公民館、男女共同参画支援センターなど、生涯学習施設間の連携を強化して、新たな学習ニーズに対応した事業や情報提供などを効果的に実施します。

● 生涯学習施設間の連携強化と新たな学習ニーズへの対応(市民活動支援課) 43

取組状況	コミセン館長会議を月1回、コミセン職員研修を年1回実施した。
効果	情報交換を行うことで、市民ニーズの高い事業を実施することができ

	きた。
--	-----

● 生涯学習施設間の連携強化と新たな学習ニーズへの対応（文化・スポーツ推進課） 43

取組状況	<p>情報提供においては、情報紙・誌の発行、子ども向け事業のホームページへの掲載などで、連携を図った。</p> <p>生涯学習情報紙「まなびEye」を年3回発行（市内全戸配布）</p> <p>子ども向け情報誌「子どもチャンネル城陽」を年2回発行（市内小学生に配布）</p> <p>「じょうよう子ども広場」で子ども向け事業の情報発信を隔月1回更新（HP掲載）</p>
効果	<p>各施設で開催する講座等の情報をまとめた生涯学習情報紙を発行することにより、一目で生涯学習に関する情報を得ることができ、市民の自発的な学習活動につながった。</p>

② 民間団体等との連携

生涯学習事業の企画立案、情報交換、講師派遣などにおいて、商工会議所、社会福祉協議会、カルチャーセンターやスポーツクラブ、NPO・ボランティア団体等と連携を強化して、生涯学習事業の充実に努めます。

● 民間団体と連携した生涯学習事業の充実（文化・スポーツ推進課）

44

取組状況	<p>温水プール自由遊泳事業については、平成19年度～平成22年度は年に7回実施してきたが、市内民間スイミングスクールの協力により、平成23年度以降開催回数を増加させ、平成24年度からは年に11回開催してきている。</p>
効果	<p>参加者の延べ人数は増加し、事業効果は表れているが、1回当たりの参加者は減少傾向にあり、市民の健康寿命を高めるためにも参加者の増加を図るように、事業の広報活動等を進めていく必要があると考える。</p> <p>H20 7回 489人 H28 11回 529人</p>

③ 京都府等との連携

京都府や他市町村、大学などの高等教育機関とともに、京都府生涯学習推進ネットワークに参画して、生涯学習に関する情報収集や情報提供、学習プログラムの研究・開発などの共同事業を推進します。

● 京都府生涯学習推進ネットワークへの参画（文化・スポーツ推進課）

45

取組状況	<p>京都府や市町村、大学や民間団体などが参画して、京都府生涯学習ネットワークを構成している。</p>
------	---

効果	高度情報化に対応した学習プログラムなど、生涯学習の総合的な推進について研究が進められている。ネットワークを利用し、事業計画をするにおいて府をはじめ参画団体の生涯学習事業について情報収集をし、必要に応じ連携を図った。
----	---

④ 学校教育と社会教育の連携・融合

学校、地域がそれぞれの教育機能を発揮して、学校教育における地域などの連携協力を促進するとともに、地域の社会教育活動に学校が協力するなど、学校と地域が一体となった学習活動の充実に努めます。

● 学校と地域が一体となった学習活動の充実（学校教育課）

46

取組状況	学校・地域連携推進事業や特色ある学校教育推進事業などを実施した。
効果	地域の社会人講師や学習環境を活用して、さまざまな学習を行った。

● 学校と地域が一体となった学習活動の充実【再掲】施策22

（文化・スポーツ推進課）46

(3) 情報提供の推進

① 情報紙の充実

生涯学習情報紙「まなびEye」等の内容の充実に努め、多くの市民が興味を持って情報紙をめざします。

● 生涯学習情報紙の充実（文化・スポーツ推進課）

47

取組状況	まなびEyeについて、平成26年6月1日号まで新聞折込、平成26年9月1日号からポスティングにより全戸配布した。
効果	配布方法を変更し、全戸配布することで、広く生涯学習情報の提供をすることができた。

② ホームページの充実

現在、市のホームページで生涯学習情報紙「まなびEye」の内容と、子ども向け事業の情報提供を行っていますが、子ども向け事業を全年代の事業を対象とするなど、内容を充実し、常に最新の情報が提供できるように努めます。

● ホームページの充実（文化・スポーツ推進課）

48

取組状況	市のホームページで生涯学習情報紙「まなびEye」や「子どもチャンネル城陽」、「じょうよう子ども広場」を掲載し、生涯学習事業について情報提供を行った。 生涯学習情報紙「まなびEye」を年3回発行（市内全戸配布）
------	---

	<p>子ども向け情報誌「子どもチャンネル城陽」を年2回発行（市内小学生に配布）</p> <p>「じょうよう子ども広場」で子ども向け事業の情報発信を隔月1回更新（HP掲載）</p>
効果	<p>各施設で開催する講座等の情報をまとめた生涯学習情報紙を発行することにより、一目で生涯学習に関する情報を得ることができ、市民の自発的な学習活動につながった。</p>

③ 情報提供システムの充実

生涯学習事業への参加申し込みなどがインターネットでできるような仕組みづくりを検討するとともに、携帯情報端末等の通信技術の活用を検討します。

また、市民活動情報サイトを活用し、NPO・ボランティア団体などの活動情報の提供に努めます。

なお、パソコンやインターネットなどの情報技術を使いこなせない人に対する情報提供についても配慮します。

● インターネットによる事業参加申込と携帯情報端末等の活用検討

（文化・スポーツ推進課） 49

取組状況	<p>生涯学習事業の参加申し込みについて、はがき・FAXと、一部でEメールにて受付を行った。</p>
効果	<p>平成27年度から城陽市民大学において、Eメールでの申込受付を開始した。平成28年度以降、Eメールでの申込件数は増加している。</p>

● NPO・ボランティア団体などの活動情報の提供（市民活動支援課）

50

取組状況	<p>市民活動情報サイトのリニューアルと市民活動支援センターのフェイスブックを開設した。</p>
効果	<p>市民活動情報サイトのリニューアルと市民活動支援センターのフェイスブックを開設することにより、多世代への迅速な情報提供が可能となった。市民活動支援に関する講座やパソコン講座の開催により、パソコンや携帯等の操作が苦手な方にもホームページやフェイスブックに親しんでいただけるようになった。「まちの木サロン」の定期開催により、情報技術を使いこなせない人への情報提供や交流を図ることができた。</p>

④ 施設予約管理システムの充実

現在、インターネットを利用して、生涯学習施設の空き状況の確認などが可能な施設予約管理システムを運用していますが、インターネットを利用されない人が不利益にならないよう配慮しつつ、利便性の向上を図ります。また、次期更新時に、京都府の公共施設案内予約システムへの参加を検討します。

● 施設予約管理システムの利便性向上（文化・スポーツ推進課）

51

<p>取組状況</p>	<p>現在の施設予約管理システムの利便性の向上を図るため、新システム導入について検討し、平成 28 年度に導入できるよう、事務を進めた。平成 26 年度には OS 更新、平成 28 年度には平成 16 年の導入以降使用し続けた施設予約管理システムの更新を行うためのプロポーザル審査を行い、京都府の公共施設案内予約システムについては、城陽市独自の減免率等の設定が複雑であるため、参加を見送ることとした。</p>
<p>効果</p>	<p>アクセス件数や予約件数が増加している。利用者の利便性の向上を図ることができた。</p> <p>インターネットアクセス件数 H20 32,691 件/日 H28 91,915 件/日</p> <p>インターネット予約件数 H20 510 件 H28 648 件</p>

3 現代社会への対応

(1) 人権や平和、男女共同参画の推進

① 基本的人権の尊重

城陽市人権教育・啓発推進計画に基づき、保育園・幼稚園、学校、地域社会、家庭、企業などのあらゆる生活の場を通じて、人権教育・啓発などの取り組みを推進します。

特に、地域の実情に応じた情報提供や学習機会の充実とともに、市民ニーズにあったテーマ設定による人権教育・啓発を推進します。

● 人権に関する啓発活動などの推進（市民活動支援課） 52

取組状況	山城人権ネットワーク推進協議会に参画し、山城人権フェスタの開催等を通じ、山城地域全体の住民に対して人権啓発を行うことができた。「人権の花」運動を通じ、保育園・幼稚園・小学校等の園児・児童等に対し、人権の大切さを伝えることができた。職員人権研修会の開催や、各種人権関係研修会等への職員の参加により、職員の人権意識を高めることができた。企業人権研修会の開催により、企業における人権尊重の重要性を啓発することができた。
効果	人権啓発新聞の発行や街頭啓発活動により、広範な人権啓発を行うことができた。

● 人権教育の推進（文化・スポーツ推進課） 53

取組状況	関係団体から推薦された企画推進委員と教育委員会による企画推進委員会を設け、市民人権学習会を実施した。平成27年度から、城陽市民大学人間コースとしてリニューアルした。
効果	企画推進委員会を設けることにより、市民ニーズにあったテーマ設定の講座を実施することができ、人権教育を推進することができた。 H20 市民人権学習会 1回 177人 H28 市民大学人間コース 3回 301人

② 平和学習の推進

戦争の悲惨さ、平和の尊さ、生命の大切さを後世に伝えるため、平和都市宣言の趣旨に基づき、平和に関する啓発活動や学習活動を推進します。

● 平和に関する啓発活動や学習活動の推進（秘書広報課） 54

取組状況	学習活動としては、市内に住む小学6年生～中学3年生を対象とした「平和のための小中学生広島派遣事業」、戦争体験記を市内中学校卒業生に配布する「永遠の希い配布事業」を実施した。また、文化パルク城陽市民プラザにおいて、原爆、戦争に関するパネル展示やビデオ
------	--

	才放映、語り部の講話、広島派遣団前年度参加者の作文発表を行う「平和のつどい事業」を実施した。啓発活動としては、原爆死没者や戦没者への慰霊、平和祈念の黙祷を周知するために広報じょうようへの掲載、サイレンの吹鳴等を行った。
効果	戦争を経験した世代が少なくなる中、事業を通じて小中学生に対し戦争の悲惨さや命の尊さを伝えることができた。

③ 男女共同参画の推進

城陽市男女共同参画計画（さんさんプラン）に基づき、男女共同参画の推進に努めるとともに、城陽市男女共同参画支援センター（ぱれっとJOYO）を拠点として、市民や市民活動団体と協働し、男女共同参画に関する啓発活動や情報提供、学習機会などを充実します。

● 男女共同参画に関する啓発活動の充実（市民活動支援課）

55

取組状況	さんさんプラン（第2次男女共同参画計画、第3次男女共同参画計画）に基づき施策を実施した。各事業実施の際は、市民団体の参画を得て協働で取り組む他、団体やNPO等への事業委託により協働の推進を図った。
効果	平成26年度男女共同参画社会に関するアンケート調査結果によると、日本の男女の地位の平等観について、社会通念・慣習やしきたりなどでは、男性30.3%女性13.7%（十分平等である・ある程度平等であると答えた人の割合の合計）が平等であると考えているものである（平成31年度の目標値は平等であると考えている人の割合男性・女性とも50%）。同アンケートにおける、ぱれっとJOYOの認知状況について、ぱれっとJOYOを知っている人の割合は41.4%という結果であった（平成31年度の目標値はぱれっとJOYOを知っている人の割合60%）。

● 男女共同参画に関する情報提供の充実（市民活動支援課）

56

取組状況	男女共同参画に関する啓発を行った。インターネットの利用や図書貸し出し、各種発行物などによる情報提供を行った。
効果	男女共同参画に関する啓発が図られた。

● 男女共同参画に関する学習機会の充実（市民活動支援課）

57

取組状況	各種事業においては、市民が主体の取り組みになるよう工夫し、男女共同参画支援センター（ぱれっとJOYO）が市民の活動拠点となるよう、館の利用促進や周知に努めた。
効果	平成27年度には、1階東向きの窓ガラスに市男女共同参画支援センターぱれっとJOYOの名称を掲示し、各種講座を開催する際には

	地図を添付する等、館の周知に努めた。また、各種事業において市民主催や委託により、講座やイベント等を実施することができた。平成18年度の開館時、男女共同推進登録団体は14団体であったが、平成28年度3月末時点で40団体へと増加した。
--	---

(2) 福祉学習の推進

① 地域福祉の意識向上

城陽市地域福祉計画に基づき、ノーマライゼーションの理念に基づいた心豊かな地域社会を実現するため、市民・地域・企業・関係機関・行政が協働して、地域社会のあらゆる場で、福祉に関する学習を推進します。

● 地域における福祉に関する学習の推進（福祉課） 58

取組状況	市内10校の小学校と、5校の中学校に対して、毎年度福祉体験学習を実施した。
効果	小中学生の福祉に対する理解を促進した。

② 障がいのある人の学習機会の充実

UDまなびの広場（障がい者教室）などの学習機会を充実するとともに、障がいのある人の学習活動を保障するため、要約筆記や手話などの支援策を充実します。

また、障がいのある人が身近でより多様な文化・スポーツを楽しむことができるよう、文化・スポーツ活動の参加機会の充実に努めます。

● 障がいのある人の学習機会と支援策の充実（文化・スポーツ推進課） 59

取組状況	UDまなびの広場（障がい者教室）などの各種講座で、学習機会を充実するとともに、障がいのある人の学習活動を保障するため、要約筆記や手話などの支援策を充実させた。障がいのある人が身近でより多様な文化・スポーツを楽しむことができるよう、文化・スポーツ活動の参加機会の充実に努めた。 平成27年度から、城陽市民大学ライフコースとしてリニューアルした。
効果	企画推進委員会を設けることにより、市民ニーズにあったテーマ設定の講座を実施することができた。 H20 UDまなびの広場 3教室9回 162人 H28 市民大学ライフコース 3回 218人

● 障がいのある人の文化・スポーツ活動の参加機会の充実（文化・スポーツ推進課） 60

取組状況	平成20年度（過年度も含む）～平成28年度において、市内で開
------	--------------------------------

	催される心身障がい児者スポーツ大会を後援するとともに、スポーツ推進員により大会の運営に協力した。2020年東京パラリンピックが開催されるのに合わせ、宿泊施設のバリアフリー化を進めた。
効果	障がいのある人がスポーツを楽しむことができた。また、プラムイン城陽が2020年パラリンピック・パワーリフティングの強化拠点施設の宿泊施設として利用されるようになった。

●障がいのある人の文化・スポーツ活動の参加機会の充実（福祉課） 60

取組状況	城陽市心身障害児者スポーツ大会の運営費等に対し補助を行った。
効果	平成20年度～平成28年度 200,000円/年度

(3) 現代的課題に対応する学習の推進

① 国際化社会に対応する学習の推進

語学講座をはじめとした国際交流講座を通して国際理解の環境づくりと学習機会を提供するとともに、市内に在住する外国人が、市民として安心して暮らせるよう、日本語習得への支援などを推進します。

●国際理解の環境づくりと学習機会の提供（秘書広報課） 61

取組状況	城陽市国際交流協会にて語学講座等を開催した。
効果	語学学習を通して、異文化への理解や国際交流の推進を図ることができた。

●外国人への日本語習得支援（秘書広報課） 62

取組状況	国際交流協会にて外国籍住民の人々に継続的な日本語学習の機会を提供した。
効果	地域での国際交流が実現でき、また日本語学習支援に係る社会状況、学習者の状況、日本語指導方法、城陽での活動等をふまえてボランティアの養成を行った。

② 情報化社会に対応する学習の推進

情報化社会の進展に対応して、市民が情報を上手に活用することができるよう、情報機器の操作方法の習得など、学習機会の充実に努めます。
また、近隣市町と協働して、インターネットを活用したeラーニングなどの学習機会の提供に努めます。

●働く女性の家におけるパソコン研修の実施（商工観光課） 63

取組状況	働く女性の家において、パソコン講座を継続的に実施し、情報機器の操作方法を習得するための学習機会などの充実に努めた。
------	---

効果	パソコン講座 H20 55回 H28 33回 働く女性の家運営委員会において、年度ごとに講座内容や回数の見直しを行い、ニーズにあった講座内容を実施することが出来た。
----	---

● eラーニングによる学習機会の提供（文化・スポーツ推進課） 64

取組状況	京都府インターネット放送局生涯学習講座のシステム改修に伴い、「城陽2万年の歴史」は動画の画質が新システムに不対応（粗い）ため、平成27年4月をもって一旦配信を終了した。
------	--

③ 自然・環境学習の推進

城陽市に存在する豊かな自然環境の保全や地域の緑化を推進するため、学習活動や啓発活動を充実します。

また、家庭でできる環境負荷低減策など、身近な環境問題に対する情報提供や学習活動を充実します。

● 環境問題に関する学習活動や啓発活動の充実（環境課） 65

取組状況	城陽市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の取組みとしての環境出前講座、城陽環境パートナーシップ会議との共催である環境フォーラムでの講演会、グリーンカーテン啓発のためのゴーヤ苗の配布、エコ料理教室を実施した。
効果	自然環境保全、地球温暖化問題について市民への学習機会を提供し、啓発を実施できた。

● 緑化推進に関する学習活動や啓発活動の充実（地域整備課） 66

取組状況	城陽市緑化フェスティバルについては、平成21年度より市民協働による実行委員会形式で企画・運営を行い、イベントの内容の充実、「城陽メルカート」と同日開催した結果、年々来場者数は増加し、平成28年度には約1万人が来場した。ゴーヤ苗の配布については、9年間で応募世帯数が増加し、それに対応して配布世帯数も増加させることにより、多くの世帯での緑化の推進につながった。
効果	花いっぱい運動支援事業については、9年間で活動団体・活動箇所が2倍以上増加しており、一定の周知が図られている。

④ 健康学習の推進

健康で豊かな生活を送ることができるよう、健康教室、健康相談などの開催、健康意識の高揚や健康管理に必要な情報提供などを充実します。

● 健康管理に必要な情報提供の充実（健康推進課） 67

取組状況	健康教室、健康相談ともに年間100回以上開催し、健康管理に必
------	--------------------------------

	<p>要な情報の提供に努めた。また、参加のない方については、特定健康診査の受診結果により優先度の高い方から順次、訪問による相談を実施して情報提供に努めた。</p>
効果	<p>健康相談、健康教室ともに実施回数、延べ参加者数は減少している。特に、若い世代の延べ参加者数が減少してきている。</p> <p>健康教室や健康相談の開催、訪問による相談の実施により、健康学習の推進を図ることができた。</p>

⑤ 食に関する学習の推進

市民が食に関する知識を習得し、健全な食生活を実践することができるよう、食生活改善推進員（ヘルスマイト）と連携して、栄養教室や親子料理教室などの学習機会の充実を図ります。

● 栄養教室などの学習機会の充実（健康推進課）

68

取組状況	<p>食生活改善推進員（ヘルスマイト城陽）と連携し、幼児健康診査やママパパ教室等の場において食に関する学習機会の充実を図ってきた。</p>
効果	<p>食に関する学習の推進のため、食生活改善推進員（ヘルスマイト城陽）の会員数の増加をめざし養成講座を9年間で5回開催してきたが、平成29年4月1日時点での会員数が55名と会員数増加が進まない状況である。1歳8か月児健康診査での手作りおやつ提供では、簡単にできるおやつ提供だけでなく、ジュースやその他の菓子類に含まれる糖分の量の展示を行っている。毎日ジュースや清涼飲料水を飲んでいる3歳児の割合をみると、平成20年度は、25.3%であったが、H28年度は20.8%と減少しており、効果が出ていると考える。</p>

⑥ 消費生活に関する学習の推進

商品やサービスについて、消費者としての正しい知識を持ち、豊かな消費生活を送るため、消費生活に関する学習や情報提供を充実します。

● 消費生活講座の充実（商工観光課）

69

取組状況	<p>各種講座を継続的に開催した。</p>
効果	<p>商品やサービスについて、消費者としての正しい知識を持ち、豊かな消費生活を送るための学習機会の提供を行った。</p>

● 情報提供の充実（商工観光課）

70

取組状況	<p>継続的に消費生活に関する情報を提供した。</p>
------	-----------------------------

効果	商品やサービスについて、消費者としての正しい知識を持ち、豊かな消費生活を送るための情報提供に努めた。
----	--

4 文化・スポーツ活動の振興

(1) 文化芸術活動の振興

① 文化芸術活動の推進

城陽市文化芸術振興計画に基づき、「市民の健やかなところ、豊かな文化をはぐくむまち」を基本理念として、文化的な生活環境の整備・創出、市民文化の創造と交流、地域における文化芸術活動の振興などに取り組みます。

● 文化芸術活動の振興（文化・スポーツ推進課） 71

取組状況	文化芸術振興計画の進行管理、文化芸術表彰を行った。また、城陽市に和太鼓・大正琴文化を根付かせるため国民文化祭記念事業を開催した。
効果	平成20年度から行っている文化芸術表彰は、功績賞（個人）18人（団体）3組、奨励賞（個人）6人となり、市民の文化芸術活動の向上に貢献できた。

② 文化芸術事業の充実

文化パーク城陽における音楽や演劇をはじめとした幅広い分野の文化芸術事業の充実に努めるとともに、コミュニティセンターにおける地域に根ざした文化芸術事業の充実に努めます。

● 文化パーク城陽における文化芸術事業の充実（文化・スポーツ推進課） 72

取組状況	公益財団法人城陽市民余暇活動センターが文化振興事業として様々な事業を実施した。
効果	H20 33事業 28,587人、H28 33事業 23,041人 参加人数は減少しているものの、継続して実施することで、市民の文化・芸術等の鑑賞機会を作り出すことができた。

● コミュニティセンターにおける地域文化芸術事業の充実（市民活動支援課） 73

取組状況	地域の文化芸術活動の拠点として、地域住民のニーズに応じたコミセン事業を継続的に実施した。
効果	各サークルの活動が精力的に行われるとともに、各サークルの活動成果の発表の場を、コミセンまつりなどを通じて提供した。

③ 文化芸術活動への支援

市民および文化団体などとの協働により、さらなる文化芸術活動を推進するため、団体の育成と活動への支援を行います。

● 文化団体の育成と活動支援（文化・スポーツ推進課） 74

取組状況	市民および文化団体などとの協働により、さらなる文化芸術活動を推進するため、団体の育成と活動への支援を行った。
効果	市民の自主的な文化芸術活動をより効果的に推進するため、文化芸術関係団体に対する支援を充実させることができた。

(2) 文化財や歴史の保存継承の推進

① 文化財の保護と活用

文化財の適切な保護・保存に努めるとともに、出土遺物の整理・資料化を図り、広く市民への周知に努めます。

● 文化財の適切な保護・保存（文化・スポーツ推進課）

75

取組状況	史跡地等8ヶ所について、適切な保護・保存を行うための管理に努めた。
効果	久津川車塚古墳については、史跡指定地の約93%を公有地化した。

● 出土遺物の整理・資料化と市民への周知(文化・スポーツ推進課)

76

取組状況	平成11年度から継続し、ケースのコンテナ整理・資料化を行った。
効果	H20 22ケース H21 22ケース H22 19ケース H23 10ケース H24 13ケース H25 20ケース H26 20ケース H27 20ケース H28 9ケース

② 文化財保護意識の普及・啓発

市民の文化財保護意識を向上し郷土愛をはぐくむため、文化財の普及・啓発に努めるとともに、地域の歴史や伝統文化、行事の保存・継承に努めます。

● 文化財保護意識の普及・啓発（文化・スポーツ推進課）

77

取組状況	久津川車塚古墳の整備に向けた具体的な資料を得るための発掘調査を平成26年度から着手し、平成26年度に135㎡、平成27年度に475㎡、平成28年度に300㎡の調査を実施した。
効果	史跡芝ヶ原古墳を市民の歴史学習の場および文化財の普及・啓発の場として整備を行うため、周辺地形立体説明板の設置と史跡追加指定地の園路・植栽工事等を行い、平成26年3月20日にすべての整備を完了し、全面開園した。また、芝ヶ原古墳の発掘調査成果と整備の内容をまとめた報告書を刊行した。

● 伝統文化や行事の保存・継承（文化・スポーツ推進課）

78

取組状況	地域の歴史や伝統文化、行事の保存・継承に必要な事業に対して補
------	--------------------------------

	助金交付を行った。
効果	補助金交付件数 H20 5件 H21 6件 H22 6件 H23 4件 H24 5件 H25 4件 H26 4件 H27 4件 H28 6件

● 歴史、伝統文化の保存・継承（歴史民俗資料館） 79

取組状況	平成 23 年度に市民により立ち上げられた「おかげ踊りを広める会」に協力した。
効果	おかげ踊りを保存、継承するために、主体的に活動できる組織として運営できるよう助言・援助に努めてきた。

③ 歴史民俗資料館の充実

ふるさとの文化遺産を次代に伝承していくため、歴史民俗資料館の展示の充実を図るとともに、歴史民俗資料、古文書、民具などの調査研究を推進します。

● 展示の充実（歴史民俗資料館） 80

取組状況	展示内容の検討を行い、時事的なテーマや多くの方に興味を持ってもらえるような事業を実施するよう努めた。
効果	観覧者数 H20 10,150 人 H28 6,455 人 施設のリニューアルにより、平成 20 年度は過去最大の観覧者数があった。その後、年度ごとに展示内容の検討を行い、時事的なテーマや多くの方に興味を持ってもらえるような事業を実施するよう努め、展示内容の充実を図った。

● 歴史民俗資料（古文書・民具等）の調査研究の推進（歴史民俗資料館） 81

取組状況	文化財の普及、伝承のために歴史民俗資料（古文書、民具等）の資料収集を行い、その保存・研究を行ってきた。
効果	平成 23 年度には、緊急雇用対策事業を活用し、手書古文書目録のデータ化や民具収蔵室の整理、資料館が所蔵している資料のデータ化を進めた。

(3) スポーツ・レクリエーション活動の振興

① 活動機会の充実

多くの市民が健康で生きがいを持って暮らせる社会づくりに向け、気軽にスポーツ・レクリエーションに親しめるよう、市民ニーズに沿ったプログラムの提供に努めるとともに、スポーツ活動を通じた体力づくりの機会や場の充実に努めます。

● 市民ニーズに沿ったプログラムの提供と体力づくりの場の充実

(文化・スポーツ推進課) 82

取組状況	市民ニーズを把握し、誰もが気軽に参加できるラージボール卓球やソフトバレーボールフェスティバルなどのニュースポーツの大会や、体を動かすきっかけづくりとなるような健康アカデミー教室、はじめてのたいそう教室などを実施した。
効果	<p>H20 6事業 466人(教室) 6事業 1,345人(大会) 19人(三朝町交流)</p> <p>H28 5事業 187人(教室) 5事業 783人(大会) 19人(三朝町交流)</p> <p>市民ニーズを把握し、事業を整理し、幅広い年齢層を対象としたスポーツ教室を展開することで、多くの市民がスポーツ活動を楽しみ、健康の増進につながった。</p>

② 関係団体との連携と支援

市民一人ひとりが日常生活の中にスポーツ・レクリエーションを取り込み、定着できるよう、また、スポーツ活動を通じた地域交流が推進されるよう、体育協会などの関係団体と連携するとともに、その活動を支援します。

● 団体との連携と活動支援 (文化・スポーツ推進課)

83

取組状況	<p>サンガのホームタウンとして、市民応援バスツアー、シーズン開幕前に激励会、市内公共施設にのぼりや横断幕の掲出、市内循環バスにサンガを応援するラッピングを施すなどの支援事業を実施してきた。特に、西京極陸上競技場で開催されるホームゲームで実施している市民応援バスツアーについては、平成25年度からは全試合を対象に実施し、また平成29年シーズンからは参加費の無料化を行うなど、その取組を強化してきた。地域との関係の深いスポーツ団体として城陽市社会体育振興会や競技力の向上と競技の普及を目指す城陽市体育協会、子どもの発育・発達に応じたスポーツ活動を展開している城陽市スポーツ少年団などの各種団体の活動支援として、毎年補助金の交付を行ってきた。また、各団体の事業や会議に職員を派遣しアドバイスや支援を行った。市民や団体の努力もあり、府民総体において、平成26年度および平成28年度は4位入賞をはたしている。</p>
効果	<p>市民意識調査においては、城陽市がサンガのホームタウンであることの認知度が、平成23年度には65.1%であったものが、平成28年度には69.8%に上昇するなど事業効果が表れている。</p>

③指導者の育成

ニュースポーツをはじめとした各種スポーツの普及と定着を図るため、指導者の育成や確保に努めます。

● 指導者の育成・確保（文化・スポーツ推進課）

84

<p>取組状況</p>	<p>地域におけるスポーツ普及のコーディネーターとして、下記に示す自主事業や他団体が取り組むスポーツ事業に協力を行ってきた。また、コーディネーターとして適切な活動ができるように、スポーツ推進員の京都府大会、近畿大会、全国大会に参加し、スポーツにかかる知識、見識を深めるとともに、ニュースポーツなどに係る情報収集を積極的に行ってきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な自主事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーバドミントン大会開催 ・市民体カテスト開催 ・協力事業 <ul style="list-style-type: none"> ・城陽マラソン大会 ・心身障がい児者スポーツ大会 ・陸上協議記録会 ・古川放課後子ども教室 など
<p>効果</p>	<p>市民のスポーツ活動に対する関心が高まる一方で、市民の高齢化も進むことなどから、健康寿命を高めることなどを目的に、平成27年度から市民体カテストを実施してきた。また、地域からの要望に答え、ニュースポーツの出前講座なども実施してきた。</p>

④ 総合型地域スポーツクラブの支援

いつでも、だれでも、いつまでもスポーツができる環境づくりと、スポーツを通じた地域コミュニティの活性化を図るため、総合型地域スポーツクラブの設立を支援します。

● 総合型地域スポーツクラブの設立支援（文化・スポーツ推進課）

85

<p>取組状況</p>	<p>平成21年に設立された「寺田西総合型地域スポーツクラブ」は、ラージボール卓球、ソフトバレーボール等の教室やグラウンドゴルフ等の事業を展開されている。平成25年度までは、スポーツ振興くじの助成を受け活動されてきたが、同助成を平成26年度以降受けることができなくなったことから、平成26年度以降、市が運営支援として助成金を交付するとともに、組織運営や事業内容に関するアドバイ</p>
-------------	--

	スや広報じょうようへの記事掲載等行った。また、クラブには、安定した運営ができるように、技術的支援および運営の支援を行ってきている。
効果	補助金額 平成 26 年度 352,800 円 平成 27 年度 369,600 円 平成 28 年度 348,600 円

(4) 読書活動の推進

① 図書館事業の充実

計画的な図書の実充とともに、ボランティアグループなどと連携して、絵本の読み聞かせなどの子どもライブラリー、文学・歴史講座などの成人ライブラリーなどを充実し、市民の読書活動を推進します。

● 図書の充実（図書館）

86

取組状況	図書館の蔵書 20 万冊を維持し、市民ニーズに合った図書を選定・更新することにより、図書館利用者へのサービスの充実を図った。また、24 年度には企業等による雑誌の提供を通じた図書館事業への参画と社会貢献を促進することを目的とした雑誌スポンサー制度を新設し、雑誌コーナーの充実と市民利用サービスの向上を図った。
効果	「城陽市子どもの読書活動推進計画」の推進指標として設定した、28 年の目標数値「幼児・児童図書の割合 30%」に対して、28 年度末実績で 30.1%（児童書所蔵冊数：91,228 冊）となり、目標数値を達成することができた。

● 図書館事業の充実（図書館）

87

取組状況	市民の文化の発展と読書推進につながる各種事業を継続して実施した。
効果	読書ボランティアによる図書館事業への参画を促進するなど、市民の読書活動推進に向けた取組を実施することができた。

② コミセン図書事業の充実

計画的な図書の充実とともに、ボランティアグループなどと連携して、絵本の読み聞かせなどを充実し、市民の読書活動を推進します。

● 図書の充実（市民活動支援課）

88

取組状況	住民のリクエスト等を通じて図書のニーズを的確に把握し、図書を充実させた。
------	--------------------------------------

効果	図書室蔵書目標冊数は寄贈本などもあり、早期に達成することができた。
----	-----------------------------------

● 読み聞かせの充実（市民活動支援課） 89

取組状況	各コミセン図書室で、絵本の読み聞かせや紙芝居など数多くの事業を実施した。
効果	市民の読書活動の推進を図った。

③ 図書システムの充実

図書館利用者へのサービスを充実するため、インターネットを利用した蔵書検索・予約や京都府図書館総合目録ネットワークへの完全参加など、より市民に利用しやすいシステムの充実に努めます。

● システムの充実（図書館） 90

取組状況	図書館情報システムは18年4月に運用を開始、これまで2度の更新を行い、ハード・ソフトウェア機器等を一新することで効率性と利便性が向上し、ひいては図書館利用者へのサービスの充実を図ることができた。
効果	インターネットを利用した府内の蔵書検索や予約による京都府図書館総合目録ネットワークに参加・活用することにより、さらに図書館利用者へのサービスの充実を図ることができた。 インターネット予約登録者数 H20 1,281人 H28 3,085人

④ 子どもの読書活動の推進

城陽市子どもの読書活動推進計画に基づき、家庭や学校等、地域社会が連携して、子どもの読書活動を推進します。

● 学校および学校図書館における読書活動の推進（学校教育課） 91

取組状況	市立図書館においても、学校での読み聞かせ等の読書ボランティアに対し貸し出し冊数の増冊などの支援や、学校への貸し出し図書の充実を行った。
効果	第2次城陽市子どもの読書活動推進計画を策定するとともに同計画について、学校の司書教諭との連絡会を実施した。 学校図書館司書との連携を図った。学校での読み聞かせ等の読書ボランティアの支援等に努めた。

● 図書館における読書活動の推進（図書館） 92

取組状況	「おすすめブックリスト」は21年度から作成・配付し、また、児童・生徒の読書意欲の喚起を目的として22年度から読書ラリー事業を実施するなど、子どもの読書活動を推進する取組を実施することができた。また、読書ラリー事業では100冊完読者へのほう賞として教育長より「教育長賞」の賞状を授与しており、授与した児童・生徒数は28年度末累計で137名となった。
効果	多数の児童の読書意欲の促進につながった。

● 学校との連携推進（図書館）

93

取組状況	「城陽市子どもの読書活動推進計画」に基づき、小中学校と連携を図りながら、子どもの読書活動を推進する取組を実施することができた。
効果	平成28年度は市内小学校への「おはなしキャラバン」を5校から10校へ拡大することで、更なる児童への読書推進活動の充実を図った。

⑤ 高齢者・障がい者の読書環境の充実

高齢者や障がい者の読書活動を推進するため、大活字本や録音図書を充実するとともに、高齢者施設への本の貸出を検討します。

● 大活字本や録音図書の充実（図書館）

94

取組状況	障がいのある方に各種サービスを継続して実施するとともに、高齢者向けに大活字本を購入することで所蔵冊数を拡大し、高齢者の利用サービスを充実することができた。
効果	H20年度末 1,348冊 H28年度末 1,705冊

● 高齢者施設への本の貸出検討（図書館）

95

取組状況	高齢者向けに大活字本を購入することで所蔵冊数を拡大し、高齢者の利用サービスを充実することができた。
効果	H20年度末 1,348冊 H28年度末 1,705冊

5 学習成果を活かした地域づくりの推進

(1) コミュニティ活動の推進

① コミュニティ事業の推進

地域住民の連帯感やふるさと意識が醸成される豊かなコミュニティづくりを目的に、コミュニティセンターにおいて、地域住民が主体となって実施する各種のコミュニティ事業を支援します。

● コミュニティ事業の支援（市民活動支援課）

96

取組状況	コミュニティセンターの運営は、地域住民で組織された運営委員会があたっており、住民の主体的、自主的なコミュニティ事業を実施した。また、運営委員会が地域団体と連携して実施するコミセンまつり、夏まつり等を支援するため、コミュニティ補助金を交付した。
効果	コミュニティセンター利用者 H20 411,642人 H28 371,662人 コミセンまつりや選挙等の行事により利用者数は、年度により、増減があるものの、コミセン事業に多くの地域住民が参加することで、連帯感やふるさと意識の醸成を図ることができた。

② コミュニティ組織の育成・支援

コミュニティセンターを中心として、主体的・自立的な地域社会を形成するため、自治会などのコミュニティ組織の活動を支援するとともに、親子が気軽に参加できる花いっぱい運動やクリーン活動など、地域の特性を活かした新たなまちづくり活動を支援します。

● 自治会活動やまちづくり活動の支援（市民活動支援課）

97

取組状況	自治会からのニーズに応じて自治会集会所等建設等補助金制度改正や修繕補助金の新設等を行った。自治会集会所等建設等補助金の交付や自治会集会所建築資金貸付により、自治会の活動拠点となる集会所等の整備を支援した。
効果	地域住民の連帯によるコミュニティ意識の高揚及び自治会活動支援のため、各自治会及び各自治会連合会に助成金を交付し、自治会活動を支援した。

● 花いっぱい運動の支援【再掲】施策66（地域整備課）

98

● クリーン活動の実施（環境課）

99

取組状況	市内各地で実施されるクリーン活動を支援した。
効果	自然環境保全、地球温暖化問題について市民への学習機会を提供し、啓発を実施できた。

③ コミュニティリーダーの育成・確保

地域社会における様々な活動の活性化を図るため、活動の中心となるリーダーの育成・確保に努めます。

● 地域活動におけるリーダーの育成・確保（市民活動支援課） 100

取組状況	自治会長会議や自治会長研修会の開催、「自治会だより」の発行や、市民活動支援センター講座の開催や市民活動相談を実施した。
効果	地域活動の中心となるリーダーの育成・確保に努めた。

● 地域活動におけるリーダーの育成・確保（文化・スポーツ推進課） 100

取組状況	社会教育関係団体代表者を対象に研修会を実施した。
効果	研修会の地域活動の中心となるサークルリーダーの育成に努めた。 サークルリーダー研修会参加者 H20 430人 H28 330人 参加者数は減少しているが、毎年、新しい講師に来ていただき、内容の充実したサークルリーダー研修会を実施することにより、代表者にリーダーとしての自覚の醸成ができた。

(2) ボランティア活動の推進

① ボランティア活動の奨励

広報紙やインターネットなどでボランティア活動に関する情報提供を行うことにより、ボランティア活動に対する理解と関心を高めます。
また、社会教育施設など公共施設において、ボランティア活動の場を提供するとともに、活動に必要な研修の実施に努めます。

● ボランティア活動に関する情報提供の推進（市民活動支援課） 101

取組状況	市民活動相談や市民活動講座の実施により、市民活動団体を支援した。市民活動支援センター登録団体は、平成28年度末で70団体となった。
効果	市民活動情報サイトのリニューアルと市民活動支援センターのフェイスブックを開設により、ボランティア活動に関する情報発信が強化できた。また、活動団体同士の情報交換も活発に行われるようになった。

● ボランティア活動の場の提供（図書館） 102

取組状況	読書ボランティアサークル（20年度登録数17団体⇒28年度登録数19団体）及び図書館サポーター（20年度登録数5名⇒28年度登録数15名）への継続した支援及び育成を図った。
効果	ボランティアによる図書館事業への参画と読書活動の推進を図ること

	とができた。
--	--------

●ボランティア活動の場の提供（歴史民俗資料館） 102

取組状況	平成19年度に資料館友の会において「資料館ボランティアクラブ」を発足し、資料館の普及事業等で支援を受けてきた。
効果	H20 支援を受けた普及事業33回 ボランティア登録人数10人 H28 支援を受けた普及事業34回 ボランティア登録人数15人

●ボランティア活動の場の提供（高齢介護課） 102

取組状況	活動内容は、①レクリエーション等の指導又は参加 ②お茶出し ③食堂内の配膳及び下膳の補助 ④話し相手 ⑤施設催事の運営補助 ⑥その他市長が適当と認める活動 と区分し、平成27年度より実施。												
効果	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>登録者数</th> <th>登録事業所</th> <th>活動実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>97人</td> <td>30ヶ所</td> <td>延べ644人</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>88人</td> <td>30ヶ所</td> <td>延べ542人</td> </tr> </tbody> </table>		登録者数	登録事業所	活動実績	H27	97人	30ヶ所	延べ644人	H28	88人	30ヶ所	延べ542人
	登録者数	登録事業所	活動実績										
H27	97人	30ヶ所	延べ644人										
H28	88人	30ヶ所	延べ542人										

●ボランティア活動の場の提供【再掲】施策99（環境課） 102

●ボランティア活動の場の提供（商工観光課） 102

取組状況	例年、山背彩りの市において、ボランティアを広く募集し、運営協力等を行った。
効果	H28 ボランティア人数 9人

② 学習機会の充実

多様なボランティア活動への参加意識を高めるため、だれでも気軽に参加できる各種ボランティアの養成講座や体験講座の実施など、学習機会の充実に努めます。

●ボランティアの養成講座や体験講座の実施（市民活動支援課） 103

取組	市民活動支援センター講座やパソコン講座の開催により、ボランティア活動に関する学習機会の提供に努めた。市民活動団体や市民が、近況報告やテーマに沿った意見交換を行う等を目的とした「まちの木サロン」を開催し、市民活動団体同士の交流や情報共有及びネットワークづくりを支援した。
効果	市民活動支援センター登録団体は、平成28年度末で70団体となった。

③ ボランティア活動への支援

ボランティア活動に対するアドバイスやボランティア団体の交流、情報交換の場の提供など、市民のボランティア活動の拠点として市民活動支援センターの活動を推進します。

● 市民活動支援センターの活動推進（市民活動支援課）

104

取組状況	市民活動支援センター講座やパソコン講座の開催により、ボランティア活動に関する学習機会の提供に努めた。市民活動団体や市民が、近況報告やテーマに沿った意見交換を行う等を目的とした「まちの木サロン」を開催し、市民活動団体同士の交流や情報共有及びネットワークづくりを支援した。市民活動相談により、ボランティア活動を始めたい方へのアドバイスや、団体運営に関するアドバイスを行い、市民の自発的な活動を支援した。市民協働講座や交流会などを開催し、市民活動支援センターの基盤向上に取り組んだ。
効果	市民活動支援センター登録団体は、平成28年度末で70団体となった。

(3) 学習成果の活用

① 活動の場の充実

生涯学習の成果を表現する場として、文化協会が中心となった市民文化祭などで、発表会や作品展などが開催されており、今後も、市民の生涯学習活動への意欲を高めることから、学習成果を表現する場の充実に努めます。

● 市民文化祭などへの支援（文化・スポーツ推進課）

105

取組状況	生涯学習の成果を表現する場として、文化協会が中心となった市民文化祭などで、学習成果を表現する場の充実に努めた。
効果	城陽市文化協会の活動を支援することにより、市民の生涯学習活動が活発になっている。

② 人材活用の仕組みづくり

市民の中から豊富な知識や技術を持つ方や、学習活動で学んだ優れた成果を持つ方を指導者として登録し、市民の自主的な学習の場で活動するシステムの整備を検討します。

● 人材活用システムの整備検討（文化・スポーツ推進課）

106

取組状況	人材活用に係る情報提供については、アーティストバンクを実施している東大阪市に視察に行く等、検討し、既存の情報を利用した情報提供を推進していくこととした。
効果	各施設の登録制度、各種地域団体会員の利用、社会教育関係団体登

	録名簿の活用など既存の情報を利用した情報提供を推進した。
--	------------------------------